

CAGLIERO'11

カリエロ11

サレジオ会宣教ニュース N.62 - 2014年2月

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



サ
レジオ
会員の皆さん、
サレジオ・ミッショ
ンの友人の皆さん！

第27回総会の開始が間近に迫るなか、心よりあいさつを申し上げます！私たちの聖なる宣教師、殉教者の初穂であるルイジ・ヴェルシリアとカリスト・カラヴァリオの祝日にサレジオ宣教の日を祝う管区もあります。私たち皆にとってこの祝日は、神に全面的にささげられた二人の生涯に感謝を表す日です。

2008年から2014年の6か年をふり返るとき、私は特に、サレジオ会とサレジオ家族のうちに宣教師の召命を増し加えてくださったことを神に感謝します。6回に及ぶ宣教派遣(2008-2013)によって、総長は計206名の会員を派遣しました。大多数を占めるアジア(127)から、またヨーロッパ(43)、アフリカ(22)、アメリカ大陸(14)からの宣教師です。最も寛大に多くの会員を送り出したのは：ベトナム(67)、インド(40)、イタリア(10)、ポーランド(9)、スペイン(8)、スロバキア(8)、インドネシア(7)、フィリピン(5)です。今では、すべての地域が宣教師を送り出し、そして受け入れています。宣教の動きは多方向的であり、私たちの会を真にカトリック、普遍的なものにしています。さらに、会としておよそ40年ぶりに、宣教志願院が南アジア地域に再開されました(2011、2012)。2018年、最初の志願者たちがポスト・ノビスを修了するときに、最初の宣教派遣が行われる予定です。皆さんに感謝！

第27回総会が、私たちの会の召命と宣教の文化に、新たな推進力をもたらし強めることができるよう、お祈りをお願いします！

Václav Clement
宣教顧問
ヴァツラフ・クレメンテ神父

私の使命は“何かをする”ことではなく “愛すること”だと悟った

私は宣教師としてアルバニアで実地課程を過ごしましたが、神学の勉強のとき、院長の指導のもと、より貧しい環境で働きたいと感じそのことを伝えました。今、私は宣教師としてMEM(メキシコ-メキシコ)管区で、メキシコのオアハカの先住民族の人々と生活を共にしています。

私の宣教体験はすばらしい、美しいもののはずでした：私は新司祭として熱意に燃えてメキシコに到着しました。み国を建設する宣教の夢の実現に向けて働くという望みに満ちて、さまざまな司牧のイメージでいっぱいの個人の計画を抱いていました。しかしこの計画は、さまざまな理由から実現できないものでした。メンタリティーや文化、そのほかの主観的、客観的な限界のためにでした……私は悲しく、落胆しました。

ある日、ベトナムの神の僕フランシスコ・ザビエル・ゲン・バン・トゥアン枢機卿の書いた『五つのパンと二匹の魚』という冊子を読みました。トゥアン枢機卿は書いていました。「神と神の業、どちらかを選びなさい」。この言葉は、数日間、私の黙想のテーマになりました。



した。とうとう私は、内なる声が「神の業ではなく、神を求めなさい」と言うのを聞きました。神は、何かの仕事をするために私を奉獻されたのではなく、愛に満ち、へりくだった神の現存、近く共に歩んでくださる現存をあかしするために奉獻してくださいたのだと私は気づきました。私にとって神はどなたなのか、私は神をどなただと言うのか。顔を上げると十字架のイエスが目に入り、イエスが苦しんでおられながらも、幸せであるのがわかりました。イエスがほほえみ、私に言われるかのようでした。「勇気をもって！」

そのときから、宣教についての私の考え方は全く変わりました。神が私に求めておられる宣教の働きは、「何かをする」ことにあるのではなく、「愛すること」にあるのです。なぜなら、イエスに従うよう私を招くのは、愛だけだからです。愛は、分かち合うようにと私を駆り立て、御父への愛、私たちへの愛のためにご自分を十字架上で捧げられたイエスのように、自分をあますところなく明け渡すよう私の心をとらえるのも、愛です。イエスは、私を囚われた状態から解放し、より近くご自分に従うよう招いてくださいました。

今、私にとってイエスは倣うべき最高の模範です。イエスは唯一の目標、私が自分をささげる唯一の理由です。そのため、私は寂しく感じることも、闇の中、道の途中で打ち棄てられているように感じることもありません。イエスが共にいてくださる、イエスが私の内におられ、私はイエスの内にいる信じているからです。イエスは私の道を照らしてくださる、絶えることのない光です。

イエス、わが神よ！ 第一の完全な愛としてあなたを認める知性をお与えください、あなたが私を遣わされる人々のうちに、あなたが私を愛してくださった同じ愛で、あなたを愛することができますように。あなたの従順をお与えください、あなたの受難が私の共感となり、あなたの死が私の救いとなり、あなたの復活が私の希望となりますように。あなたと私は、来たるべきみ国のために、一つなのですから。

私はこの宣教の使命を喜び、満足しています。それは愛の使命、愛だけのためです。なぜなら神は愛であり、ご自分の愛を分かち合うよう私を招いてくださるからです。

ベトナム出身、メキシコの宣教師
洗礼者ヨハネ ヴ・ホアイ・フォン神父

新宣教師を求む…

管区 -国

必要な言語

環境・必要とされる資質

アメリカ大陸

ARS -アルゼンチン	スペイン語	特にパタゴニアのための宣教師
ANT -キューバ	スペイン語	以前よりも開かれつつ、いまだ貧しい中、福音宣教の多くの機会がある。人手が足りない。
BCG -ブラジル-カンポ・グランジ	ポルトガル語 地元の言語	ボロ口族、サヴァンテ族の人々のために強化が緊急に必要。 マト・グロッソ地方で2部族の人々は大きな発展の段階を迎えている。
PER -ペルー、 -カルパ使徒座代牧区	スペイン語 地元の言語	1.2009年より委託されたカルパ代牧区。宣教師が少ない。いくつかの先住民族のグループ。 2.宣教地-ヴァジェ・サグラド(ケチュア)3.ユリマグアスの宣教地(サン・ロレンソ)
SUE - SUO -米国-移民	英語、 スペイン語	ラテンアメリカ系移民の司牧 (小教区、ユースセンター-オラトリオ、社会的ニーズへの奉仕)
URU -ウルグアイ	スペイン語	ラテンアメリカで最も世俗化した国。 若い会員を求む。

ヨーロッパ

BEN -ベルギー北、オランダ	フラン語 英語	ユースセンター-オラトリオ、小教区、 移民のための事業、サレジオ青少年運動
FRB -フランス、ベルギー南	フランス語	ユースセンター-オラトリオ、小教区、 移民のための事業、サレジオ青少年運動
GBR -英国	英語	学校、黙想の家、移民、若い会員を求む。
IME -アルバニア、コソボ	アルバニア語、 イタリア語	第一次福音宣教、人員の不足、特に修道士を求む(修道士がいない)。
ICC -イタリア-移民	イタリア語、 スペイン語、英語	プロジェクト・ローマ-聖心(移民)、プロジェクト・ジェノバ(ラテン系)



養成部門と宣教部門によって制作され、総長とその評議会により2013年1月23日に承認された文書『ドン・ボスコのサレジオ会員の宣教への養成』が出版され、各管区に配布されています。



サレジオ会の宣教の意向

アフリカのサレジオ会の学校のために

ドン・ボスコの予防教育法によって教育を受ける青少年が、自ら物事を考え見極める精神をもって成長し、年長者の人間的、宗教的な徳に養われますように。

あるアフリカの格言です。「腰を下した年寄りは、立っている若者よりも遠くを見晴るかす」。目上(両親、カテキスタ、長上など)に聞き従わずに思ったようにしたいという誘惑は、若者にとって常に強いものです。アフリカでは、高齢者は特別に尊敬されます。高齢者は、ほかの文化に見られるように家庭から追いやられたり疎外されたりすることはありません。かえって高齢者は、尊敬され、家庭の中で完全に受け入れられています。実に高齢者は、家族の頂点に立っているのです。高齢に対するアフリカのこの美しい受けとめ方は、西欧社会のために、尊厳をより大切にしながら高齢者を処遇するインスピレーションとならなければなりません。」(Africæ Munus, 47)

